

迅速流体継ぎ手「カプラ」やリニア駆動ポンプなどを手がける日東工器は、携帯型たん吸引器「キュータム」を販売している。従来型の吸引器の約4分の1サイズで小型・軽量。乾電池でも駆動するため、停電時や災害時にも活躍する。新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、吸引器が必要となる医療現場で需要が高まっている。

医工連携で行こう！ 成長市場に挑む



訪問介護で活用

従来の吸引器は病院のベッドの下などに備えてあり、重量は5kg以上あり、持ち運びが難しいため、屋外や訪問先で使用できなかつた。

キュータムは重さ1kgで加圧と除圧を繰り返す。

日東工器

■ 携帯型たん吸引器 ■

・2kg弱と軽量。外形寸法は縦約300mm×横125mm×高さ175mm。専用バッグも付属し、訪問介護で使用したり、小児患者が外出する時に親が携帯できる。電源はACアダプターのほか単3形乾電池4本でも駆動し、災害時など状況に応じて選択できる。

日東工器の産業用ポンプの開発や製造技術は長年、医療分野で注目されてきた。同社も医療機器用のポンプを提供。小型・静音・低振動といったポンプ技術の強みを生かし医療機器ブランド「MEDO」を展開する。空気

小型・軽量で持ち運びにも便利
(日東工器提供)



し、血液やリンパ液の循環を促すエアマッサージ器「メドマーシリアーズ」などを販売している。

キュータムは日本理療法士協会の提案で開発に着手した。2010年に、これまで医師や看護師にしか認められていなかった、たんの吸引行為が実現するのは難しかった。要求された性能に

ながら部品を選定し、追加した。試作機の改良を3〜4回重ね、16年に販売を開始した。大規模停電が発生した18年の北海道胆振東部地震では、キュータム約80台を6カ所の救急病院に無償で提供した。

リハビリ職種の要望取り入れ



キュータムの使用イメージ。訪問看護などで、たんの吸引に活用できる (日東工器提供)

ながら部品を選定し、追加した。試作機の改良を3〜4回重ね、16年に販売を開始した。大規模停電が発生した18年の北海道胆振東部地震では、キュータム約80台を6カ所の救急病院に無償で提供した。

吸引器拡充へ

また、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて医療機関に提供した。肺炎ではたんが詰まる症状がみられ、人工呼吸器だけでなく吸引器も不足する事態を予想した。病院側からも緊急提供の要請があったこともあり、小形明誠社長は「吸引器がいざという時に必要になることを改めて実感した」と振り返る。

小形社長は「当社が医療機器を扱っていることはまだ十分に知られていないが、使うと良さを分かってもらえ、口コミで広がっている」と話す。今後吸引力を向上するなど、さらに多くの現場で使用できるように吸引器のラインアップ追加を検討する。

小型・軽量 災害時に活躍